

国際秩序への挑戦 危惧



靖国神社を参拝する安倍首相(左)とオバマ米大統領(右)。①は安倍首相の歴史観に懸念を示した米議会調査局の報告書(コラージュ)

米議会調査局報告書

危険水域

「安倍首相の歴史観は米国人の認識と衝突する危険性がある」。報告書は異例の厳しい表現で安倍政権の歴史認識をめぐる言動に、くぎを刺した。「第二次世界大戦と日本占領での米国の役割に関して」と明記しており、戦後の平和国家建設の出発点と位置付ける東京裁判や戦争責任の追及を念頭に置いた警告だ。

報告書を作成した米議会スタッフ四人は日本やアジア事情に精通しており、悪感情や偏見があるわけではない。「日本通」「日本好き」の米知識層が警戒感を抱き始めていることは、米国の対日不信が危険水域に至っている証しだ。報告書は、議会の外交政策立案に影響を与える。ホワイトハウスや国務省など米政府の対日関係担当者の見方も報告書に近いとみられる。

米政府は当初、昨年末の首相の靖国神社参拝を「戦後の国際秩序への挑戦」とはとらえていなかった。「失望」を表明した声明も近隣諸国との関係悪化への

米議会調査局がまとめた日米関係に関する報告書で、靖国神社参拝に踏み切った安倍晋三首相の歴史認識に米国が懸念を強めていることが鮮明になった。当初、韓国や中国との関係修復にとどまっていた米国の関心は、参拝の背景にある日本国内にくすぶる第二次大戦後の歴史観修正の空気に集中。首相の取り巻きの言動に、反米感情につながりかねない危険をかきとっているようだ。

歴史観に不信、対日外交に影響も

核心

懸念が中心で、A級戦犯がまつられた神社への参拝を問題視する表現は含まれていなかった。実際、米当局者は年明け以降は「参拝に直接的に『失望』とは言わなくなった」(日米関係筋)。歴史問題を日米関係に波及させないためだ。

だが、日本側の言動が止まらなかった。首相に近い作家の百田尚樹NHK経営委員が東京裁判を批判した際、米政府は「非常識」と

非難。安倍政権の積極的な安全保障政策は歓迎するがそれが過去の戦争責任の否定とセットになれば、戦勝国として看過しないという姿勢を鮮明にした。

米政府は首相周辺の歴史修正主義的な発言や対米批判を「首相の本音」と受け取るようになってきた。首相がこうした人物を重用していることが、中韓だけでなく「米政権内の警戒ベルも鳴らしている」(ワシントン・ポスト紙)ののだ。このままでは「日本は戦後の国際秩序に挑戦している」と主張する中国と同じ側に米国を追いやる。日本が国際的に孤立する事態につながりかねない。

(ワシントン・竹内洋一)

歴史問題をめぐる最近の主な出来事

- | | |
|--------|---|
| 9月5日 | G20首脳会合で、安倍首相とオバマ米大統領が会談。首相はシリア問題での米対応に理解を示す |
| 10月3日 | 日米両政府が東京都内で外務・防衛担当閣僚による日米安全保障協議委員会(2プラス2)を開き、日米防衛協力のための指針を2014年末までに再改定することで合意 |
| 11月19日 | ケリー米国務長官とヘーゲル米国防長官が都内の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で献花 |
| 11月19日 | キャロライン・ケネディ駐日米大使が天皇陛下にオバマ米大統領の信任状を奉呈し、正式に着任 |
| 12月26日 | 安倍首相が靖国神社を参拝。在日米大使館などが「失望している」とする声明を発表 |
| 1月29日 | 中国、韓国、北朝鮮が国連安全保障理事会の討論会で、安倍首相の靖国神社参拝を批判 |
| 2月3日 | NHK経営委員会の百田尚樹氏が米軍による東京大空襲や原爆投下を「大虐殺」とした上で「東京裁判はそれをごまかすための裁判」と述べる |
| 19日 | 衛藤晟一首相補佐官が動画サイト「ユーチューブ」で、首相の靖国神社参拝に「失望」を表明した米国の対応について「むしろわれわれが失望」と批判していたことが発覚 |

「首相は危険な存在」英仏報道

欧州同調

米国と同じ戦勝国の英国やフランス政府は今のところ目立った反応を示していない。だが、メディア論調は米国と同様、厳しい。

「安倍氏のナシヨナリズムが厄介な方向に向き始めた」とする社説を二月十日付で掲載した英紙フィナンシャル・タイムズ。安倍首

相の靖国神社参拝を「日本の民主主義にとって懸念される結果をもたらす」と批判。集団的自衛権の行使容認をめぐる憲法解釈変更などの議論で、中国脅威論を利用して世論を誘導しようとする安倍首相は「日本にとって危険な存在だ」と決め付けた。

フランスのメディアも安倍政権に厳しい論調が目立ち、野村悦芳